

令和3年度11月補正予算案

令和3年11月

11月補正予算額
(一般会計)

129億円

コロナ対策分

81.0億円

8月豪雨災害対策分

44.4億円

通常分

3.6億円

医療提供体制の強化

予算額：64.4億円

(97.7億円→162.1億円)

第6波を想定し、受入可能病床を増やす体制を整えます

(コロナ患者を受け入れる病院に対し、準備した病床数に応じて補償)

感染状況に応じて

病床数を確保

4月 336床 → 9月 434床
(当初予算:97.7億円)

拡大

最大545床まで病床を確保
(11月補正後:162.1億円)



プロジェクトMを機動的・戦略的に運用

その他コロナ対策の主なもの

継続的な支援を実施

生活福祉資金貸付事業費補助 **7.0億円**

(生計の維持が困難になった世帯に対する
生活再建までの間に必要な生活費用などへの貸付枠の拡大)

新型コロナウイルス感染症対策事業費 **5.7億円**

(医療機関に対する設備整備支援)

その他

新型コロナウイルス感染症行政検査事業費 (PCR検査等に係る経費)
など

8月豪雨災害対策分

8月豪雨災害対策の予算総額

10月補正まで：148.0億円

11月補正：44.4億円

計192.4億円

うち、河川、道路、農地、林地の復旧 36.7億円

コミュニティ再生支援

予算額：56百万円

8月豪雨災害で被災した地域のコミュニティを
きめ細やかに支援します

R元 令和元年佐賀豪雨災害

地域づくりに欠かせないコミュニティを守るため、県内自治会等を支援

地域の声



伝統行事に使う道具の修繕ができ、悲痛に沈んだ住民や子ども達の勇気と支えになった！

再び

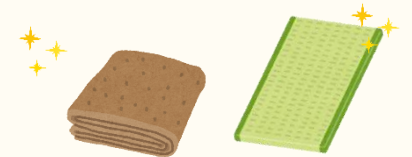
令和3年8月豪雨災害

県内自治会等に直接支援

(自治会等の施設や祭りなどの伝統行事に使用する道具の修繕等を支援)

上限額：200万円

〇〇自治会



内水対策・プロジェクトIF

プロジェクトIFにより踏み込んだ内水対策を実施します



気候変動対応型の
災害対応が必要

プロジェクトIF

準備が整ったものから
速やかに着手



排水ポンプ車（9月補正）の整備に続き、 対策を実施します

守

内水監視カメラ等設置

- ▶ 内水監視カメラ・水位計(26箇所)、道路情報板(6基)を設置

⇒迅速かつ的確な災害オペレーションの実現



防災カメラ



道路情報板

貯

ため池の調節ゲートの整備

- ▶ 大雨の状況に応じて時機を逃さず速やかに放流をするための調節ゲートの整備

⇒20万 m^3 の貯留容量を確保
(約40cmの水位低下が可能)



やきごめ

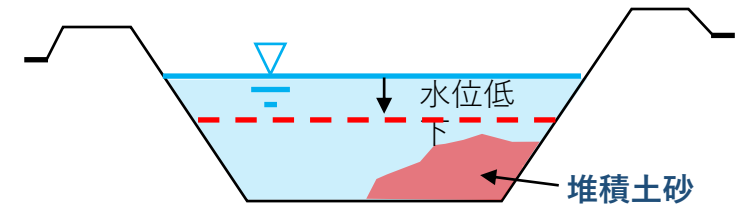
焼米ため池（武雄市北方町）

流

河川浚渫

- ▶ 流水の障害となっている河川内の堆積土砂の浚渫を実施
出水期までに行う浚渫箇所(17箇所→56箇所)へ増加

⇒河川の流下能力を確保



その他8月豪雨災害対策の主なもの

【11月補正】

佐賀県災害救助基金特別会計への繰出金 4億円

国

【11月補正】

国庫負担金 4億円

【佐賀県災害救助基金特別会計】

【11月補正】住宅の応急修理、避難所運営など 7.5億円

【当初予算】

//

0.5億円

8億円

市町
被災者

その他

住居などに被害を受けた方への貸付 など

通常分

11月補正： 3.6億円

- | | |
|---|--------|
| ・法人事業税の一部を市町に交付 | 3.2億円 |
| ・佐賀県高性能食肉センターの整備 | 0.7億円 |
| ・OPEN-AIR佐賀 北山キャンプ場の整備
(老朽施設解体・撤去工事) | 0.2億円 |
| ・コロナの影響によるインバウンド対策の取り止め | △0.7億円 |
| ・その他 | 0.2億円 |

様々な人が利用しやすい空港へ

多様なニーズに対応するため、有料駐車場を新設するとともに歩道部にルーフを設置します

債務負担行為：3.5億円



歩道部ルーフ完成イメージ



SSP構想の推進におけた競技施設の整備

市町競技施設の整備を推進します

SAGA2024国スポ・全障スポ

県内20市町すべてが競技会場地

18市町29施設で整備を実施

県が整備費を補助

上限額：1億円

初めての国民スポーツ大会となる
SAGA2024開催

世界に挑戦する**人材育成拠点**としてSSP構想を推進

債務負担行為：98百万円

<完成した主な施設>



吉野ヶ里町文化体育館
(競技:バレーボールなど)



SHOWAハンバーガー
スタジアム唐津
(競技:軟式野球)

<11月補正の内容>



小城市芦刈文化体育館 (改修)
(競技:ハンドボールなど)

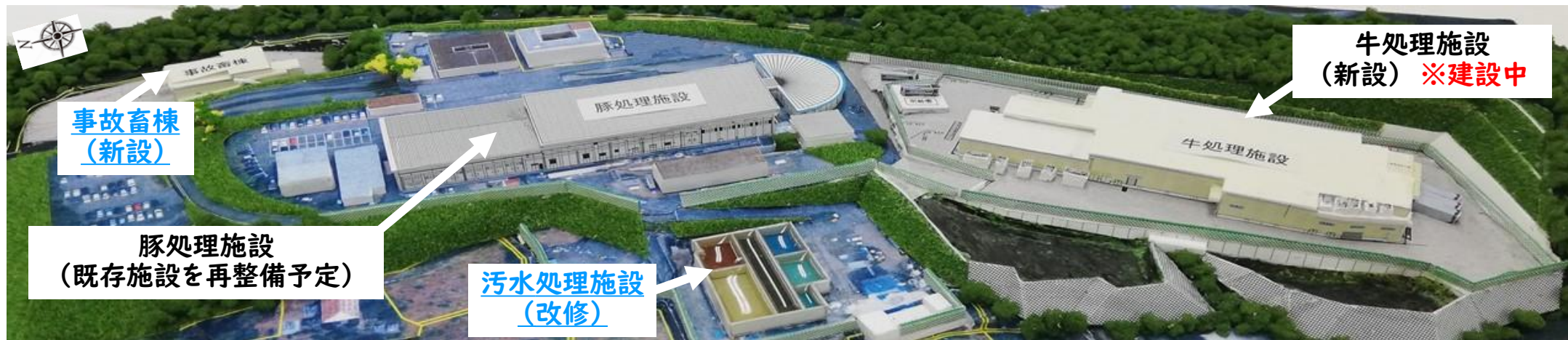


佐賀県高性能食肉センターの整備

牛処理施設（建設中）の新設に続き、
事故畜棟と汚水処理施設の整備に着手します

予算額：72百万円
（継続費：14.6億円）

佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI（かけはし）」（仮称）の整備を推進し、
佐賀と世界、畜産農家と消費者を繋ぎ、**生産額の拡大**を図ります



一つになって、
乗り越えよう。

